

議事録

担当

南海電気鉄道株式会社
於保秀明

会議名称 第2回 道頓堀川水辺空間利用検討会
開催日時 2016年1月15日(金)10:00~12:00
開催場所 南海電気鉄道株式会社 本社4階第1会議室

出席者 (役職・敬称 略)(順不同)

【委員】加藤 座長(関西学院大学 名誉教授)、長尾(大阪市立大学 大学院経済学研究科 教授)、豊島(弁護士)、吉田(公認会計士)、
稲本(宗右衛門町商店街振興組合)、高井(道頓堀商店街振興組合)、高橋(久左衛門町まちづくり協議会)、
山田(道頓堀一丁目西櫓振興町会)、長岡(高台連合振興町会)、大谷(塩草連合会・稲荷二丁目振興町会)、堀(道頓堀商店連盟)
【大阪市関連部局】木戸(中央区役所)、江頭(浪速区役所)、松原(西区役所)、中野(経済戦略局)
【事務局】井上・吉矢・辻野・田淵・外勢・藤木(建設局河川課)
【管理運営事業者】中島・今中・酒井・楠本・於保(南海電気鉄道株式会社)

提供資料

作成元

資料-1 平成27年度上期管理運営状況及び下期見込について
資料-2 平成27年度上期収支実績及び下期見込について
資料-3 新たな広告枠の募集結果の検証及び今後の取り組みについて
資料-4 ホームページの改善取り組み状況について
管理運営事業者(南海電気鉄道株式会社)

議事内容

備考
(発言者)

1. 議事

(1) 報告事項

◆平成27年度上期管理運営状況及び下期見込について

・概要を説明

→イベント、オープンカフェの件数が順調に伸びている。イベントは道頓堀開削400年で注目度が高かったのと、平日に安定してイベントを誘致できていることが件数に大きく寄与した。オープンカフェは複数月割引とフリーWi-fi設置割引という2つの割引制度を導入したことが大きい。ロケーション撮影は減った。昨年度はグリコ看板の更新があり需要が多かったが、その反動と分析している。広告は苦戦が続く。独立型店舗は平成24年度以来利用がなかったが、誘致することができた。湊町エリアの賑わい創りに大きく貢献できた。

於保(南海電鉄)

→平成27年度の上半期は160万円の黒字を計上した。しかしながら地域活性化への貢献事業費として弊社から255万円を支出したので、実質的には95万円の赤字になった。下半期を含めた平成27年度の実績は169万円の黒字を見込んでいるが、地域活性化への貢献事業費として515万円の支出を予定しているので、実質的には346万円の赤字になる。赤字にはなるが、今後ともとんぼりリバーウォークの賑わい創りに貢献できるよう取り組んでいく。

於保(南海電鉄)

→道頓堀開削400年にかかる事業については、大阪市は外郭団体で取り組んでいるのか。
→ざっくりとした説明になるが、大阪市経済戦略局・大阪府都市魅力創造局・経済界が1つの団体を作っており、その団体が水都大阪2015として水の回廊全体のイベントを公募し、実施している。
道頓堀川で実施したイベントでは、水都大阪2015のオープニングセレモニー及びミナミフェスティバル with道頓堀パレードは吉本興業様が、大阪水龍は電通様が実施された。その他に大阪市が関与したイベントとしては、大阪ミナミ400年祭において地元の皆さまが主催したイベントに共催する形で、中央区が主体となり、開催したにぎわいスクエアなどがある。

加藤委員
辻野(河川課)

→それは別途予算で市が拠出しているのか。

加藤委員
辻野(河川課)

→水都大阪2015については、市を含め、大阪府、経済界等がそれぞれ分担する形で予算を拠出している。

→その担当部門は来年度なくなるのか。

加藤委員
辻野(河川課)

→水都大阪の取り組みは毎年実施しているので、担当部門は存続する。ただ、予算的には厳しいところがあるので、今年度の様に400周年という記念の年に実施したレベルの取組みまでは難しいというのが実情。

→官主導のイベントも多かったようだ。イベントが増えれば人件費や警備料が上昇すると思うが、余分な負荷がかかったか。
→収支に記載している警備料は日中と夜間の施設警備が主なので、イベントに係る警備についてはあくまで主催者で実施していただいている。

加藤委員
於保(南海電鉄)

→上半期はイベントの実施件数が増えているということで、賑わいを感じられて喜ばしいことだ。下半期はイベントの目標件数が44件ということだが、達成できそうか。

豊島委員

→12月までで既に33件のイベントが開催されている。1月~3月については、資料に記載のとおり現時点で12件のお問い合わせをいただいている。目標件数の達成はほぼ確実と思っている。

楠本(南海電鉄)

→非常に嬉しく、心強いお話だ。イベントについては、平日と冬期の実施件数をどのように増やしていくかが課題だった。目標件数を上回る見込みということだが、その要因としては道頓堀開削400周年ということ以外に何が考えられるか。

豊島委員

→400年ということで地域や行政の大きなイベントがあったが、400年だけに特化したイベントというのがすべてのイベントではない。従来からやっていたイベントの規模が、400年ということで大きくなったものも多い。そのため、来年度についても、大きな落ち込みはないものと期待している。

楠本(南海電鉄)

大きなイベントの開催により道頓堀が目玉された。道頓堀でイベントができるということが広く知れ渡る機会になった。来年度も積極的な案内に努め、今年度並みの件数維持を目指していきたいと考えている。

→非常に頼もしいお話で安心した。400年をきっかけに道頓堀が広く知れ渡ったということがうまく来年度以降につながれば良い。引き続き頑張っていたきたい。

豊島委員

→先日とんぼりリバーウォークのホームページを拝見した。これから開催するイベントをPDFで紹介しているが、一覧性がないのが気になった。日付とタイトルが一覧になっている方が、行こうとする側からすると分かりやすいと思う。可能であれば改良していただきたい。

吉田委員

→イベントの内容が決まるのが2週間前から1週間前で、そこからホームページの更新作業を行うと、開催日までほとんど日がないという状況だった。できるだけ多くの情報をお伝えすべく今のやり方に変えた。いただいたご意見を参考により良いホームページにしていきたい。

楠本(南海電鉄)

→前回の検討会で今年度の予算についてご報告いただいた。広告について非常にポジティブな予算組をしていた。難しいところもあるのだと思うが、下期も当初予算通りを見込まれている。この点についての現状分析と今後の対応について考えをお聞かせいただきたい。

吉田委員

→道頓堀橋から戎橋間の拡大した広告枠について、10月にクライアントがついた。その後は現在のところ入っていない。我々も広告枠を大きくすれば訴求効果が高まり、クライアントが入るという思惑があった。しかし大きくした故のマイナス要因も出てきている。例えば、大きくした分だけ転落防止柵や案内板、植栽等に遮られる部分が増えた。また、大きい分、照明が必要という意見もある。これらは現在解決策を検討中である。少しでも魅力ある広告枠にして引き続き営業を行ってきたい。

楠本(南海電鉄)

→危機管理上の問題は発生したか。御堂筋は不法駐輪の問題を抱えているが、とんぼりリバーウォークにはほとんど見られない。なぜか。

高橋委員

議事録

担当

南海電気鉄道株式会社
於保秀明

→遊歩道内は自転車の乗り入れが禁止されており、案内板も掲出している。物理的にも車止め等があり、無理をしないととんぼりリバーウォークに下りられないようにしている。また、道路上には既に多数駐輪されているので、心理的に罪恶感が薄れ、集中しているところに更に集中してしまっているのではないかと。
→他に変わった事件やトラブルはあったか。
→警察に関わる出来事になったのは、12月15日に発生したリバープレートサポーターによる応援行為。他には喧嘩や川への飛び込みが若干発生している。
→以前の検討会で水面全体を使ったイベントができるようになったが、その後の状況はどうか。
→水都大阪2015で実施した水面を使ったイベントがそうだ。日ごろ通行していた船が通れなくなることを了承していただいた上で安全確認を行い、実施した。
道頓堀川の新たな賑わいの1つになる可能性があると考えている。
→今年の大河ドラマが大阪に縁のある真田丸ということで、真田関係のイベントが開催されたら良いと思う。大阪市の方で計画はあるか。
→今のところ聞いてはない。ちなみに、6月1日に実施された水面を利用した映画の告知イベントについて、資料に記載がある。周囲を観客に囲まれるかたちになり、出演者が大変喜んでたと聞いている。出演者と観客の間に川があるので、安全性も高い。簡単ではないと思うが、(真田丸でも)このようなイベントを南海の方で企画して頂ければと思う。
真田丸関係で南海の方に何か話はきているか。
→弊社の高野線沿線に九度山というところがあり、真田に縁のある場所だ。弊社としても様々な施策を実施している。
真田丸関係のイベントをとんぼりで実施することも検討しているが、まだお話しできる段階ではない。
→業務委託料が昨年度より増えたのは、利用できる面積が増えたからか。
→労務費の単価が上がったためである。公共で発注するものについては労務費が決められている。この業務委託だけが特別上がったわけではなく、大阪市が発注するすべてに付随するものである。
→面積としては、水面全体が使えるようになったことは既に織り込み済みということか。
→そうだ。

辻野(河川課)

高橋委員
楠本(南海電鉄)

高井委員
辻野(河川課)

高井委員

辻野(河川課)

於保(南海電鉄)

加藤委員
辻野(河川課)

加藤委員
辻野(河川課)

(2) その他

◆新たな広告枠の募集結果の検証及び今後の取り組みについて

・概要を説明
→広告枠を拡大し、10月に1件クライアントが入った。

於保(南海電鉄)

◆ホームページの改善取り組み状況について

・概要を説明
→ホームページについて、2点改善した。1つはイベント情報の掲出方について。作業手順を簡素化して、これまでより早く情報を出せるようにした。もう1つはイベントやロケーション撮影などの利用者向け案内について。既に掲出している案内資料で、不十分などところを見直したのと、前回の検討会でご承認いただいた運営諸経費の徴収について案内を開始した。

於保(南海電鉄)

→府が主催してドローンの大会を道頓堀で実施するという噂を聞いたが、市はどのように把握しているか。
→民間が、ドローンを使って道頓堀や大阪の素晴らしさを伝えたいという計画があるが、行政が実施するわけではない。あくまで民間が考えていること。ドローンに関する規制も始まったし、現段階でやるという話は聞いていない。一度行政に相談があったが、そういった状況である。

山田委員
中野(経済戦略局)

→府が関係していると聞いているが。
→ドローンを実施したい方が、たまたま大阪府の職員に相談に行かれたのだと思う。
→道頓堀でドローンを実施するのは騒音と安全の問題があるので、簡単に了解しないでほしい。よく検討していただかないと、問題があると思う。

山田委員
中野(経済戦略局)
山田委員

→実施にあたっては当然ながら河川管理者や地元の方々、交通管理者などと協議が必要であるということはお伝えしている、と聞いている。

中野(経済戦略局)

→気が付けば既成事実ができていくということがないようお願いしたい。
→南海もよく頑張っているのが分かったが、宣伝不足があるのではないかと。毎日、宗右衛門町の店にいるが知らないイベントもある。宗右衛門町の街路灯にバナーフラッグがある。格安でさせてもらうので、ご利用いただいたらと思う。

山田委員
稲本委員

→酔っぱらうと川に自転車を投げる人がいる。水辺に近いところには自転車を置きたがらないのではないかと。南海に質問。収支報告で、地域活性化への貢献事業として平成24年度から毎年とんぼりを開催されている。平成26年度や平成27年度の費用が平成24年度に比べ大きく下がっているのは、台風で1日中止になったからか。それともスポンサーが付いたからか。

長尾委員

→どちらもだ。ご指摘のとおり平成26年度と平成27年度は台風で1日中止になっているので、費用が若干割安になっている。また、両年とも飲料メーカーや飲食店の協賛があり、商品の提供を受けている。

於保(南海電鉄)

→観光客が増え、売上が増えるのは良いことだが、多くの地域で観光公害が問題になっている。ゴミが増えているのではないかと、思うが、実情と対策はどうか。

長尾委員

→平日の午前と午後には大阪市様が、水・土・日に弊社が清掃を実施している。その他、連休があると連休明けも弊社で自主的に実施している。ゴミは清掃した途端また捨てられるという状況で、たちごっこ状態だ。戎橋～太左衛門橋間を中心に石造りの植栽柵が設置されており、勝手ゴミ箱になっていた。大阪市様のご協力ですべてが移設された加減で、若干ゴミが減ったように思われる。ただし、根本的な解決にはなっておらず、依然としてゴミの量には苦慮している。

楠本(南海電鉄)

→ゴミの問題として、オープンカフェ店舗で買ったものを店で食べずに余所で食べる人が増えている。店ではなく、余所で捨てるこれはこういうものとして南海の負担ではなく、大阪市の予算を増やすべきではないか。もしくは管理運営費を上げるなど。そうしないといけない。それと、自転車の問題。昔、こいさん通り商店会が街灯に「不要自転車設置場所。ご自由にお持ち帰りください」という張り紙をされた。警察の指導で止められたが、不思議と今でも自転車がない。小さい芽のうちに全て撤去してしまうことが大切だ。放っておいたらどんどん増えていく。初期消火が大事なので、よろしくお願したい。

山田委員

→予算を増やすのは財政的になかなか厳しいところがある。基本的には大阪市から南海に清掃を委託しているので、南海の方でやっていただくことになる。平日の午前と午後には実施しているというのは、南海だけでは間に合わない状況になっているので、大阪市の直営でプラスアルファの清掃をやっている、ということです。

辻野(河川課)

この汗かき部分が大阪市の頑張りどころということでご理解いただきたい。南海の方でも通常の清掃サイクルを崩して連休明けにやっていただいていると聞いているので、そういった形で柔軟にやっていきたい。

まだ足りてないところがあると思うが、何とか頑張ってやっていきたい。

→ゴミの問題は金で解決するのか人力で解決するのか、そのバランスで成り立っている。ゴミがあつて誰が損をするのかという原点に立ち返ると、地元で片づけていかなければならないというのが最近の動きだと思う。

加藤委員

→外国人が来て道頓堀が賑わっているが、マナーが悪いのが問題だ。外国人はイベントの観客だが、反対に外国人をイベントに巻き込む方法はないか。例えば、旅行会社に頼んで民族衣装で歩いてもらうなど。自分たちも主役だと思ってもらうことでマナーが良くなり、観光公害が減っていくと思う。

長岡委員

→最近、大手旅行会社では添乗員が旅行地の観光マナーを講義することが多いようだ。文化の違いは大変だ。さて、ホームページの話に戻るが、近頃は小さなイベントでも主催者がホームページで情報を発信することが多い。とんぼりリバーウォークでも主催者が発信する情報と連携していけば良いのではないかと。ただしシステムの改修には費用がかかるので、主催者が情報を発信できないときに有料でとんぼりリバーウォークのホームページに掲載しても良い。

加藤委員

議 事 録

担当

南海電気鉄道株式会社
於保秀明

- 私もホームページを拝見した。イベントスケジュールをクリックすると全ての情報が1つのPDFデータで表示される。イベントごとにデータを分けられないか。もちろん手間や費用の問題はあるが。また、これまで開催したイベントのページを見ると、400周年関連のイベント情報が出てくるが、他の多くのイベントが掲載されていない。とんぼりでイベントをやってみようという方がイメージしやすいように、この会議資料を掲載するだけでも充分だと思う。また、費用面を鑑みるとFacebookは無料で利用できる。手間がかかる点でどうかと思うが、ご検討いただければと思う。ホームページ以外で、新たな広告枠について1年間利用できるという基準に変えたがうまくいっていないようだ。もう少し様子を見るのか、元に戻すことを検討するのか。また運営諸経費の徴収について、実績はどうか。利用者からの反応はあったか。
- 広告の基準はこのままでいかせていただき、販売方法に知恵を絞っていきたい。管理運営費の徴収については12月からホームページで告知を始めた。それ以前に申し込まれたものは徴収していないので、実質徴収できるのは新年度からになりそうだ。管理運営費を徴収してお客様からどのような反応があったかについては、次回以降の検討会でご報告をさせていただきます。
- イベントのパンフレットやポスターがあれば地域で貼らせてもらう。地域の人があまり参加していないのではないかと。そもそも知らない人が多いと思うので、浪速区をはじめ中央区や西区、天王寺区と広めていけば人の賑わいももっと増えると思う。外国人ばかりでなく、地域の人々の参加も考えていただければと思う。
- 遊歩道を1つのイベントスペースと考え、ネーミングライツもありうるのではないかと。神戸市ではふるさと納税の使い道を納税者が選べる仕組みがあるようだ。道頓堀においても将来的にはあり得るのではないかと。
- 貴重な意見をありがとうございます。内部で検討したい。道頓堀川遊歩道という公共空間における新たな増収策ということで、ネーミングライツや広告について検討を始めているところだ。管理運営事業者と連携し、検討が進んだ段階でこの場でお諮りし委員の皆さまのご意見を頂戴したい。

豊島委員

楠本(南海電鉄)

大谷委員

加藤委員

井上(河川課)

楠本(南海電鉄)

→本日の会議開催にあたり、委員の皆様には事前にご説明に上がらせていただいた。その際にいくつかご意見を頂戴したので、その内容をご報告させていただきます。大きく4点ある。1点目はイベントの音について。イベントをする方々はイベントごとに変わるが、近隣に住む者はずっとその音を聞き続けることになる。遊歩道ができて永い年月が経ち、ルールが少し緩んできているのではないかと。イベントをする人たちに改めてルールを守らせてほしい。弊社としてもルールに則った利用を伝え、且つイベントに際しては現場担当者を派遣してルールの逸脱がないように管理している。今後もルールの順守を徹底していただくよう主催者に伝えるとともに、現場管理を徹底していく。ルールに変更が必要な場合は大阪市様と調査し、この会議でも諮らせていただきたい。2点目はイベント予定の周知について。ある程度イベントの予定を知らせてほしい。近隣の方がイベントの音などの影響を受けるのだから、事前に知らせておいてほしい。3点目は遊歩道の環境について。遊歩道とビル間に境界壁が立っている。その境界壁とビル間にゴミがたくさんある。境界壁を外して定期的に清掃を実施してほしい。また、境界壁も傷やへこみが散見されるが、長い間そのままになっている。遊歩道を利用する方から見ると、粗暴な行為でそうなっているのではないかとと思われる。美観を損なっているし、遊歩道が物騒な場所と思われる。早急に補修や交換をしてほしい。4点目は遊歩道の防犯について。片岸1km、両岸計2kmの遊歩道に防犯カメラが設置されているが、それだけでは足りないのではないかと。死角がないように増設していただきたい。今後も不測の事態が発生することが考えられるので、連携体制や警備体制をきっちりと構築していただきたい。以上のようなご意見を頂戴した。これらの内容については弊社だけでは解決が難しいので、大阪市様と調整を図りながら個別に回答させていただきます。

閉会